



2018年12月28日

公益財団法人日本サッカー協会
三菱UFJニコス株式会社

日本サッカー協会と三菱UFJニコス、寄付金収納で提携 「JFA夢フィールド」建設費用の寄付金受付を開始

公益財団法人日本サッカー協会（所在地：東京都文京区、会長：田嶋幸三、以下：JFA）は、三菱UFJニコス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井上治夫、以下：三菱UFJニコス）と加盟店契約を締結し、アイティシージャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：松田健太郎）が提供するインターネット寄付受付サービス「FUNDEXWeb」を導入、千葉県幕張に2020年3月開業予定の「JFA夢フィールド」建設費用の寄付金受付を12月25日に開始しました。

JFA夢フィールドは、選手の育成はもとより、日本サッカー全体の発展を目的とした本格的な運動施設。天然芝、人工芝のサッカー専用ピッチ、フットサルアリーナと2階建てのクラブハウスを備えています。

本寄付は、日本サッカー発展のために広く一般の方に当事業に参画いただくための活動です。寄付希望者は、「JFA夢フィールド建設寄付」のWEBサイトからリンクしている寄付受付画面（FUNDEXWeb）にパソコン・スマートフォンなどからアクセスし、クレジットカード（Visa、Mastercard）をはじめ、コンビニエンスストア・Pay-easyを利用して寄付を行うことができます。なお、一定額以上の寄付者には、JFAのWEBサイトや施設内に氏名が掲載されるなどの顕彰を用意しています。

JFAは、「JFA2005年宣言」で“2050年までにサッカーファミリーを1,000万人にし、FIFAワールドカップを日本で開催してその大会で優勝する”ことを掲げています。そのためにはカテゴリーや世代、男女などの枠を超えた、一貫した育成指導を通じて、日本サッカーの継続的な強化と普及を図っていくため、サッカー環境やハード面を充実させていくことが不可欠です。

このような中、千葉県立幕張海浜公園内に「JFA夢フィールド」を建設します。日本のサッカーが夢の実現に向けて着実にステップアップしていくために、そしてJFAの理念でもある豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献するために、理解ある支援をお願いするものです。サッカーファミリーの夢を結集し、日本サッカーのレガシー（財産）をここから未来につなげていきたいと考えています。

三菱UFJニコスは、このたびのカード決済や精算業務を通じて、日本サッカーの一層の進展、わが国のスポーツ文化の振興に寄与していきます。

■「JFA夢フィールド建設寄付」公式サイト：<http://www.jfa.jp/nfc/donation.html>

以上